

課題番号 : 26 指201
研究課題名 : 「研究開発の推進及び評価」に関する研究
主任研究者名 : 石坂幸人
分担研究者名 : 無し.
キーワード : 若手支援、臨床研究、国際医療研究委託費、小規模研究

研究成果 :

背景: 当センターの研究開発力の底上げを図るため、若手研究者および、若手医師の臨床研究を支援する。以前、国際医療研究委託費で支援していた小規模研究に代わるシステムとして、英語論文作成や国際学会参加参加を支援し、所内の臨床研究の活性化を図るとともに、臨床研究に関する論文の輩出に貢献する。

研究協力者として、複数の医師、国際医療協力部長、看護部長、看護大学校長が参加し、all-NCGM体制で、支援申請課題に対する妥当性を評価し、その結果をもとに支援の可否を決定する。国際学会参加支援については、初年度の支援総額を勘案し、今年度の支援額は25万円とした。

方法: 初年度に引き続き、主に、若手研究者が作成したドラフトの英文校正を支援した。一方、論文の別刷代金やオープンアクセス経費については、支援対象としなかった。同時に支援を受ける論文数は3件までとし、受理されれば、改めて支援申請を行うことができるルールとした。

結果:

1. 英語論文作成支援

初年度の論文作成支援数の総数は27件で、平成27年度末までに採択された論文数は21編で、平成27年度の論文作成支援申請数は23編で、そのうち年度内の受理数は7編であった。

2. 国際学会参加支援

総数18件の支援申請があり、全て、承認された。学会発表後の論文数はゼロであった。

3. 統計解析用PCの導入

初年度に導入した統計解析用PC5台（戸山3台、国府台2台）に関する戸山キャンパスでの使用登録者数は26名であった。次年度では、統計解析のレクチャーも行うことで、一連の研究支援を切れ目無く行うことができるシステムを構築する。

結論:

1. 本支援システムを有効利用することで、多くの臨床研究が論文化された。
2. 早い段階から、「包括的な英文校正」支援を行うことで、効率的に論文化できる可能性が期待できる。
3. 受理されていない案件について、「包括的な英文校正」で支援し、早期の論文化を図る。
4. これまで、支援する臨床研究の倫理審査について注意してこなかったが、留意する必要性が研究協力者から指摘された。そこで、次年度から、支援申請の際、倫理委員会で承認されたことを示す倫理委員会承認通知書コピーを提出書類に添えるシステムにする方針とした。
5. 国際学会で発表した仕事を論文化するためのストリームを用意することが必要である。
例えば、支援対象額を必要経費の50%とし、論文化された場合には、全額援助するシステムも考えられるが、論文化までの時間を要するため、年度内予算で決済できない可能性も危惧される。

課題番号 : 26A201
研究課題名 : Promotion of research and development and its evaluation

主任研究者名 : Yukihiro Ishizaka
分担研究者名 : None

Key Words : Young doctors, research, physician scientists

研究成果 :

This research grant (26A201) supported research activities of young physicians. Out of 27 researches applied for supports for publications, 21 drafts were accepted in 2014. In 2015, out of 23 manuscripts supported for publication, 7 papers were accepted. Sixteen persons were applied for support of attendance and presentation at international scientific meetings. No papers on these works were published so far.

Further studies are required to develop a system, in which more numbers of papers would be published.

若手支援(26A-201)の実績

国際学会参加、英語論文作成に関する支援

- 国際学会への参加支援 (H26/H27)
13件/18件
- 英語論文作成支援 27(21) / 23(7)
(支援論文数(受理分))
- 英語論文作成レクチャー 8回
- 戸山に設置した統計解析用PC(3台)登録者数 26名

研究支援の流れ

H26

英文ドラフト



論文化

H27

論文シーズ
英文抄録



コンサルテーション
包括的な英文校正



論文文化

ドラフト作成の初期の段階からの支援

国際学会抄録

H28

H26とH27のアウトプットを参考にして、支援システムを改良する。

研究発表及び特許取得報告について

課題番号：26指201

研究課題名：「研究開発の推進及び評価」に関する研究

主任研究者名：石坂幸人

論文発表

論文タイトル	著者	掲載誌	掲載号	年
Viral protein R of human immunodeficiency virus type-1 induces retrotransposition and upregulates glutamate synthesis by the signal transducer and activator of transcription 1 signaling pathway.	Doi A, Iijima K, Kano S, Ishizaka Y.	Microbiol Immunol.	59(7):398-409	2015
Morphine and Fentanyl Citrate Induce Retrotransposition of Long Interspersed Element-1.	Okudaira N, Ishizaka Y, Nishio H, Hiroshi Sakagami.	In vivo	30(2):113-8	2016
Retrotransposition of long interspersed nucleotide element-1 is associated with colitis but not tumors in a murine colitic cancer model.	tsubo T, Okamura T, Hagi T, Ishizaka Y, Kawamura T, Dohi T.	PLoS ONE	10(2):e0116072	2015
Evaluation of Thermo-triggered Drug Release in Intramuscular-transplanted Tumors using Thermosensitive Polymer-modified Liposomes and MRI.	Kokuryo D, Nakashima S, Ozaki F, Yuba E, Chuang KH, Aoshima S, Ishizaka Y, Saga T, Kono K, Aoki I.	Nanomedicine	11(1):229-38	2015
Retrotransposition of long interspersed element 1 induced by methamphetamine or cocaine.	Okudaira N, Ishizaka Y, Nishio H.	J. Biol. Chem	289(37):25476-85	2014
Identification of novel autoantibodies to GABA(B) receptors in patients with neuropsychiatric systemic lupus erythematosus.	Tsuchiya H, Haga S, Takahashi Y, Kano T, Ishizaka Y, Mimori A	Rheumatology (Oxford).	53(7):1219-28	2014
Novel ACE2 activator reduces monocrotaline-induced pulmonary hypertension by suppressing the JAK/STAT and TGF-β cascades with restored caveolin-1 expression.	Haga S, Tsuchiya H, Hirai T, Hamano T, Mimori A, Ishizaka Y.	Exp Lung Res.	41(1):21-31	2015

学会発表

タイトル	発表者	学会名	場所	年月
DNA methylation profiling can classify HIV-associated lymphomas.	Akihiro Matsunaga, Mari Shimura, Shotaro Hagiwara, Shin-ichi Oka, Yukihiro Ishizaka.	3rd International Conference on HIV/AIDS, STD & STIs,	Atlanta, USA	Nov 30-Dec 2, 2015
Autoantibodies to GABA-B receptors detected in patients with systemic lupus erythematosus.	Tsuchiya H, Haga S, Takahashi Y, Ishizaka Y, Mimori A	EULAR (European league against rheumatism)	Madrid	June, 2013
活動期SLEおよび収縮性血管病態にみられる血清抗ACE2抗体による、ACE2阻害作用の検討	高橋裕子, 芳賀しおり, 石坂幸人, 三森明夫	第57回日本リウマチ学会総会	京都	2013年4月

研究発表及び特許取得報告について

肺高血圧症など血管病態に対する抗ACE2阻害抗体の病原性（続報）：強皮症、MCTDにおける検討.	高橋裕子, チョン・キョンスク, 芳賀しおり, 石坂幸人, 三森明夫	第58回日本リウマチ学会総会	東京	2014年4月
膠原病血管病態における抗ACE2抗体のACE2阻害作用：Ang(1-7)定量による方法	高橋裕子, 芳賀しおり, 石坂幸人, 三森明夫	第59回日本リウマチ学会総会	名古屋	2015年4月

その他発表(雑誌、テレビ、ラジオ等)

タイトル	発表者	発表先	場所	年月日
該当なし				

特許取得状況について ※出願申請中のものは()記載のこと。

発明名称	登録番号	特許権者(申請者) (共願は全記載)	登録日(申請日)	出願国
該当なし				

※該当がない項目の欄には「該当なし」と記載のこと。
 ※主任研究者が班全員分の内容を記載のこと。